

「静岡ろうきん」のCSR

※ Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任

「静岡ろうきん」は、「ろうきんの理念」の実践を通じて、会員、利用者、地域社会に貢献することが、社会の一員として期待される役割であり、果たすべき責任であると考えます。

「ろうきん」は、働く人たちがお互いを助け合うために資金を出し合い設立しました。以来、「働く人たちの相互扶助」を基本に、働く人たちの生活を守り、豊かにするため、時代の変化やニーズの多様化に対応して、さまざまな金融サービスを提供してきました。

また、地域社会への貢献活動をはじめ、NPO（民間非営利団体）との協働や環境問題への取組みも、働く人たちの暮らしやすい社会の実現につながるものとして、積極的にかかわっているところです。

「静岡ろうきん」は、自らの助け合いの仕組みを使い、相互扶助の精神のもと、働く人たちが喜びをもって共生できる社会の実現に向け活動していくことこそがCSRそのものであり、これからもその歩みを続けていくことが大切であると考えています。

「静岡ろうきん」のCSR

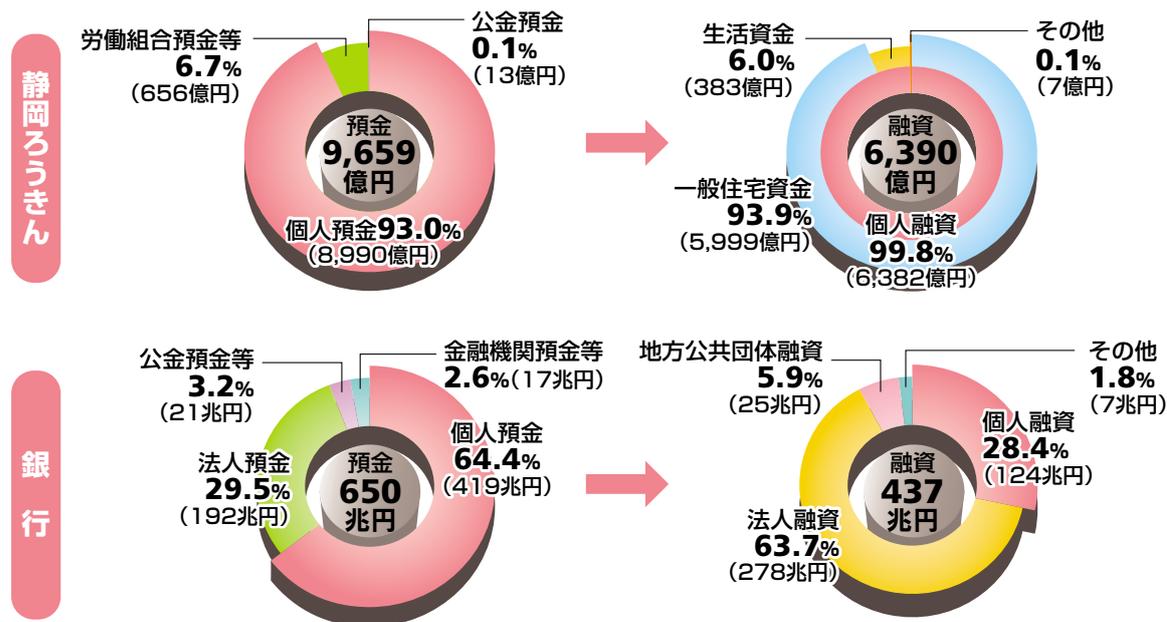
働く人たちの助け合いの仕組み

「預金」「融資」といった「ろうきん」の業務の基本は、銀行とほとんど変わりありません。しかし「お金」の流れを見てみると、「ろうきん」にお預けいただいた「お金」は、働く人々の住宅取得や車購入等の生活資金などに活用されていることがわかります。

「ろうきん」にお預けいただいた「お金」は単なる「お金」ではなく、仲間への助け合いの思いが込められています。

働く仲間の「お金」は働く仲間の助け合いのために。協同組織の福祉金融機関の姿がそこにあります。

(2014年3月末)



※「預金」は譲渡性預金を除いています。
 ※表示単位未満の端数は切り捨てて記載しています。
 ※「銀行」の数値は、「日本銀行 金融機関の預金・貸出に関する統計」より算出しています。



『明日のために(ろうきん)ができること』

このマークは、当金庫の社会貢献活動を表現しています。円を二つ重ねたデザインは、一つの円は地域、もう一つの円は地域の広がりを表しています。
 私たちは、「ろうきんの理念」実践のために、「ろうきん」としてできる社会貢献活動に取り組んでいます。

